

井上 勲・堀口健雄：微細藻類ノート (6). *Pyramimonas* aff. *amyliifera* CONRAD (プラシノ藻) Isao INOUE and Takeo HORIGUCHI: Notes on microalgae in Japan (6). *Pyramimonas* aff. *amyliifera* CONRAD (Prasinophyceae).

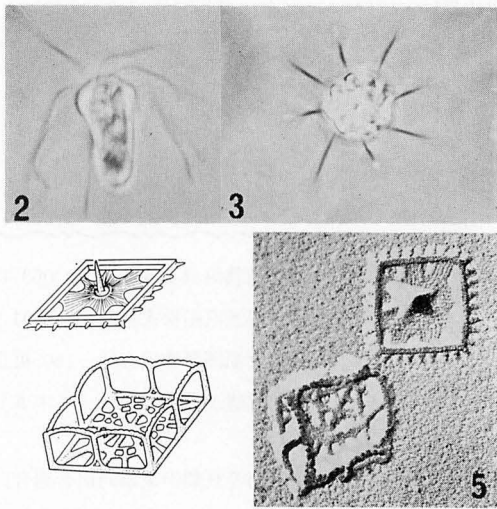
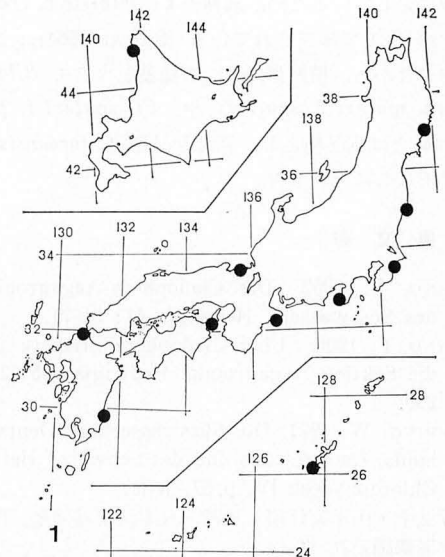
Pyramimonas amyliifera CONRAD (1939) は電子顕微鏡レベルの研究も MANTON (1969) や PENNICK (1978) により行われており、本属の中で最もよく調べられている種の一つである。わが国でも、光学顕微鏡でこの種と同定できる藻が広範囲にわたって見つかる(図1)。この藻は図2に示す形態で、大きさは $13.5-20.5 \times 11.0-15.0 \mu\text{m}$ で、前端から後端にかけて8個の稜線がある。特にこの稜線は前端部で明瞭で、正面観は丸みをおびた八角形を呈する。鞭毛は8本(まれに4本または16本)で、前端の鞭毛溝から放射状にのびる。葉緑体は一個あり、細胞前端では8枚の片葉に分れる。ピレノイドは後端にあるが、ピレノイドデンプンは光顕では顕著ではない。眼点は1個で細胞の前端寄りにある。運動は *Pyramimonas* 特有ともいべきもので、唐突に停止したり泳いだりする。しばしばスライドまたはカバーガラスに鞭毛で付着するので正面観の観察は容易である(図3)。筆者らは日本各地からこの *P. amyliifera* と同定される藻を採集し、この属の種の特徴の一つとされる鱗片構造の観察を行った。その結果この藻の体表外層鱗片は中央に突起のある盤状のもの(図4, 5)で、ヨーロッパ産 *P. amyliifera* の冠状のそれとは著しく異なっていることが明らかになった。しかし、中層鱗片(図4, 5)については両者の間には差異は認められない。日本産の藻と同じ鱗片をもつ藻は北米および南アフリカでも採集されており(R.E. NORRIS, および R.N. PIENAAR 私信)、この藻の分布域の広いことが推定される。なお、PARKE and GREEN (1976 in PARKE and DIXON) によると、BUTCHER (1959) が記載した *Asteromonas propulsa* (= *A. propulsum*) は *P. amyliifera* のシノニムであるという。

最近、PENNICK *et al.* (1978) が *Pyramimonas orientalis* 群で明らかにして以来、光顕レベルで同種とされながら、鱗片の形態に差異のあるものが *Pyramimonas* には、知られており、このような藻には種小名の前に *affinis* (= *aff.*) を付加して表記するのが慣習化されている(例えば MANTON *et al.* 1963, NORRIS and PIENAAR 1978)。ここでの表記法はそれらに従った。このような藻の分類上の取り扱いは今後の課題である。

Pyramimoas aff. *amyliifera* はわが国の河口や港湾域でごく普通にみられる。安達(1972)が記録した *Asteromonas propulsum* はおそらく同じ藻であり、赤潮を形成することが知られている。この藻の分離・培養は極めて容易であるが、増殖が最大に達すると急激に死滅する傾向があるので藻株の維持には注意を要する。

引用文献

安達六郎 1972. J. Fac. Fish. Pref. Univ. Mie, 9:



上: 外層鱗片 下: 中層鱗片

9-145.
 BUTCHER, R.W. 1959. Fish. Invest. 74 pp.
 CONRAD, W. 1939. Bull. Mus. Nat. Hist. Berg. 15, No. 42.
 MANTON, I. 1966. J. Cell Sci. 1: 429-438.
 MANTON, I., Oates, K. & Parke, M. 1963. J. mar. biol. Ass. U.K. 43: 225-238.
 NORRIS, R.E. & PIENAAR, R.N. 1978. Phycologia. 17: 225-238.
 PARKE, M. & GREEN, J.C. 1976. J. mar. Ass. U.K. 56: 527-594.
 PENNICK, N.C. 1978. Arch. Protistenk. 120: 142-147.
 PENNICK, N.C., CLARKE, J. & BELHER, J.H. 1978. Arch. Protistenk. 120: 304-311.

(筑波大 生物)